

2020 鈴鹿クラブマンレース S-FJ 鈴鹿シリーズ 第1戦 2020年 3月 14-15日 天候:曇り/晴れ 参加20台



スーパーFJの最激戦区、鈴鹿シリーズが「鈴鹿クラブマンレース第1戦」3月14～15日に幕を開けた。

3月も半ばになると昨年のスーパーFJの卒業生たちの動向も聞こえてきた。

■FIA-F4へのステップアップが決まった選手は3名。

鈴鹿チャンピオンで JSS スカラシップも獲得した澤龍之介選手は高木真一選手率いるバイオニックジャック・レーシングから、鈴鹿ランキング3位の中村賢明選手はサクセスレーシングから、鈴鹿4位で初代スーパーFJ ジャパンチャレンジ王者の荒川麟選手はザップスピードから、それぞれFIA-F4に出場することが決定している。

■フランスのFIA-F4へは鈴鹿シリーズ2位の岩佐歩夢選手はSRS-F スカラシップに、

■スーパーフォーミュラ・ライツに出場が決まったのは、岡山シリーズチャンピオンでもある入山翔選手だ、アルビレックスレーシングチームから飛躍的なステップアップを果たすこととなった。

彼らの新天地での活躍を期待する一方で、今年も匹敵する、いや超えるようなドライバーの登場が望まれるところでもある。

さて、今年の参加メンバーを見ると、昨年のランキング上位陣で開幕戦にも姿を見せていたのは前出の中村選手に、元嶋成弥選手、西村和馬選手。また鈴鹿シリーズではトップ 10 に入れなかったものの、オートポリスと富士で優勝経験を持つ女性ドライバー、下野璃央選手も加え、このあたりが主役となることが大いに予想された。

《予選》

あいにくのウェットコンディションとなった予選ながら、すでに雨はやんで路面から水が掃けかけていたこともあり、2 車を除き、殆どのドライバーがドライタイヤを装着してコースインして行った。

最初にトップに立ったのは岡本大地選手。昨年は FIA-F4 を戦い、2017 年の岡山シリーズチャンピオンだったドライバーだ。それから 2 周後に逆転したのは、昨年の VITA of ASIA でポールポジションを奪い、スーパーFJ は日本一決定戦を含めて 4 戦目となる上野大哲選手だった。そこから 3 周トップを守り続けた上野選手だったが、ラスト 3 周は岡本選手とのシーソーゲームに。

多くのドライバーが予想していたとおり路面状態も向上していく中、岡本選手が 2 分 17 秒 066 をマークすると、次の周には上野選手が 2 分 16 秒 594 をマーク。これで決まりかと思われたのだが、最後のアタックで岡本選手が 2 分 16 秒 383 を叩き出して再逆転。ポールポジションを獲得することとなった。

2 番手が上野選手で、3 番手は 2 分 17 秒 037 を記したウエスト 19J の西村選手。以下は 4 番手の下野選手と 5 番手、元嶋選手までが 2 分 17 秒台で続くこととなった。



ポールポジション 岡本大地選手 (FTK・レヴレーシング)
「今年はスーパーFJにまた出ます。ジェントルマンドライバーのコーチングを兼ねての参戦で、鈴鹿にはフル参戦の予定ですが、筑波とかオートポリスにも一緒に出ることになっています。

今の予選は、最後の最後しか狙っていませんでした。路面が少しずつ良くなっていたので、最後しか出ないと思っていたので。狙いどおりでしたけど、思っていたより差が少なかったですね。でも、決勝はこのまま逃げ切りを目指しています」

《決勝レース》

早朝には青空が広がっていた。日曜日の鈴鹿サーキットながらスーパーFJの決勝レースが行われる午後には雲も出るように、それでも降雨の心配はなさそうだ。

今シーズンを占う重要な一戦において、好スタートを切ったのはポールシッターの岡本選手。そして、それ以上のロケットスタートを決めたのが元嶋選手で、岡本選手にも迫らなばかりの勢いを見せたが、トップに立つまでには至らなかった。この2台は早々と後続を引き離していった一方で、3番手も上野選手、西村選手、下野選手、そして中村選手の間で激しく繰り広げられる。

トップ争いは、いきなり2周目に動きを見せた。シケインで元嶋選手が岡本選手のインを刺し、待望のトップに浮上。もちろん岡本選手は遅れることなく続いていく。そのまま激しいバトルが続いていくことが期待されたものの、なんと元嶋選手にドライビングスルーペナルティの指示が！



ロケットスタートならぬ、ジャンピングスタートだったのだ…4周目に元嶋選手はピットに戻り、大きく順位を落としてしまう。



そこからの岡本選手は、完全に独走状態に。だが、少しもアクセルを緩めようという様子は見せず、ファステストラップ狙いであるのは明らかだ。一方、4周目の2コーナーでは西村選手と上野選手が接触。西村選手は順位を落とすも、レース続行が可能だった一方で、上野選手はリタイアを喫してしまう。

これで中村賢明選手が2番手に浮上し、下野璃

央選手との一騎討ちに。6周目には下野選手が前に入るが、中村選手も離れない。そして、その後方でもバトルが激しくなり、6周目に高口大将選手を宇高希選手がかわし、次の周には普勝峻選手も5番手に浮上していた。

後続の激しいバトルを尻目に、岡本選手は難なく逃げ切り、そして8周目にはフ



ファステストラップ、2分15秒047もマークして8秒差での勝利に。2番手争いは下野選手が最後まで中村選手を抑え抜いていた一方で、続いてチェッカーを受けたのは板倉慎哉選手だった。予選15番手から、じわりじわりと順位を上げていた格好だ。5番手を競っていた宇高選手と普勝選手が最終ラップの130Rで接触、普勝選手は板倉選手に続いたが、危険なドライブ行為に対するペナルティとして40秒加算され、18位へと後退。そして一旦ドライブスルーペナルティで後退した元嶋選手が激しく追い上げて8位、宇高選手は9位となった。



ウィナー 岡本大地選手 (FTK・レヴレーシング)

「元嶋選手がフライングだったとは気づいていなくて、一回抜かれたじゃないですか？ならば、最初はふたりで行って、その先でバトルしようかな、と思っていました。ただ、元嶋選手は予選、ウェットタイヤでスタートしていたので（途中で交換したが）、タイヤは残っているんですよ、このまま行かれたらまずいなと思っていたんですが、ペナルティでいなくなってくれました。そこからは楽でした。でも、とにかくファステストをぶっちぎりで取らないといけないと思ったので、大変ではありましたね。ひとりだけタイムアタックしていました(笑)。鈴鹿では全部勝たないとダメだと思っていますので、頑張ります！」



2位 下野璃央選手 (Drago CORSE 10V)
「やっと鈴鹿でも表彰台に立てました。オフの間、練習に練習を重ねてきたので、去年よりもだいぶ成長できたと思います。今後もうひとつを目指します。今年はTCRも出るので、重なる1戦だけ出られないんですけど、より名前を知られるシーズンにしたいと思っています」



3位 中村賢明選手 (M2 inoki KK-S11)
「3位という結果に納得はいかないですね。ペースは変わらないと思ったけど、抜けば抜かれるし、微妙な感じでしたから。練習からセットにも悩んでいて、あんまり納得のいく感じではなかったです。これがスーパーFJ最後のレースなんで、残念です」





2020鈴鹿クラブマンレース Round1

S-FJ 公式予選暫定結果表

DATE:2020-03-14 WEATHER : Cloudy COURSE : Wet 国際レーシングコース 5.807km

Pos.	No.	Driver	Type	Team/Car	Time	Delay	Gap	Laps
1	6	岡本 大地	KK-S II	FTK・レヴレーシング	2'16.383	153.28km/h		9/9
2	38	上野 大哲	KK-S II	SACCESS RACING	2'16.594	0.211	0.211	8/9
3	18	西村 和真	WEST19J	WEST 19J	2'17.067	0.684	0.473	8/8
4	34	下野 璃央	RD10V	Drago CORSE 10v	2'17.265	0.882	0.198	8/9
5	59	元嶋 成弥	KK-S II	MYST.NAVY AUTO.制動屋 KKS-2	2'17.430	1.047	0.165	8/8
6	71	高口 大将	RD10V	DragoCORSEスカラシップ	2'18.061	1.678	0.631	9/9
7	86	宇高 希	KK-S II	CF亜衣 制動屋 レブノル KKS II	2'18.111	1.728	0.050	9/9
8	12	中村 賢明	KK-S II	M2 inoki KK-S II	2'18.307	1.924	0.196	8/9
9	26	吉元 陵	KK-S II	安藤商会オートバンサー-NEO鹿見島ED	2'18.514	2.131	0.207	9/9
10	15	小松 響	KK-S II	Rn-sports・OKABE・KK-S II	2'18.521	2.138	0.007	9/9
11	8	菅勝 峻	KK-S II	FTK・レヴKKS-II	2'18.822	2.439	0.301	9/9
12	68	富田 自然	KK-S II	Aruga support	2'18.828	2.445	0.006	9/9
13	3	鶴田 哲平	KK-S II	LAPS A-ONE KK-S2	2'18.876	2.493	0.048	9/9
14	21	太田 浩	KK-S II	ミスト・セキグチ・制動屋	2'18.992	2.609	0.116	9/9
15	55	板倉 慎哉	MYST	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	2'19.267	2.884	0.275	8/9
16	17	道野 高志	RD10V	道野眼科 10V スキルスピード	2'19.796	3.413	0.529	9/9
17	9	上吹越 哲也	KK-S II	FTK・レヴレーシング	2'20.480	4.097	0.684	8/9
18	11	三島 優輝	KK-S II	Rn Sports KKS2	2'23.383	7.000	2.903	9/9
19	7	高橋 浩史	KK-S II	BBK☆レヴレーシング	2'26.363	9.980	2.980	8/8
20	0	夕田 大助	KK-S II	LAPS A-ONE	2'26.694	10.311	0.331	7/8

以上予選通過車両:

開始時刻: 16:00'00

予選通過基準タイム(130%) 2'58.000

スターティンググリッド発表をもって、公式予選正式結果とする。

ペナルティ

No.68 3グリッド降格(鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書第62条~1)③(ホワイトラインカット))

S-FJ 決勝正式結果表

DATE:2020-03-15 WEATHER : Fine COURSE : Dry 国際レーシングコース 5.807km

Pos.	No.	Driver	Type	Team/Car	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	6	岡本 大地	KK-S II	FTK・レヴレーシング	10	22'40.759	153.63km/h		2'15.047
2	34	下野 璃央	RD10V	Drago CORSE 10v	10	22'49.044	8.285	8.285	2'15.837
3	12	中村 賢明	KK-S II	M2 inoki KK-S II	10	22'49.623	8.864	0.579	2'15.904
4	55	板倉 慎哉	MYST	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	10	23'04.352	23.593	14.729	2'16.701
5	71	高口 大将	RD10V	DragoCORSEスカラシップ	10	23'06.368	25.609	2.016	2'17.295
6	3	鶴田 哲平	KK-S II	LAPS A-ONE KK-S2	10	23'06.919	26.160	0.551	2'17.255
7	21	太田 浩	KK-S II	ミスト・セキグチ・制動屋	10	23'07.400	26.641	0.481	2'17.280
8	59	元嶋 成弥	KK-S II	MYST.NAVY AUTO.制動屋 KKS-2	10	23'09.691	28.932	2.291	2'15.748
9	15	小松 響	KK-S II	Rn-sports・OKABE・KK-S II	10	23'11.293	30.534	1.602	2'16.657
10	86	宇高 希	KK-S II	CF亜衣 制動屋 レブノル KKS II	10	23'13.798	33.039	2.505	2'16.967
11	68	富田 自然	KK-S II	Aruga support	10	23'14.476	33.717	0.678	2'17.345
12	18	西村 和真	WEST19J	WEST 19J	10	23'15.827	35.068	1.351	2'16.591
13	17	道野 高志	RD10V	道野眼科 10V スキルスピード	10	23'17.859	37.100	2.032	2'18.435
14	11	三島 優輝	KK-S II	Rn Sports KKS2	10	23'20.269	39.510	2.410	2'17.497
15	9	上吹越 哲也	KK-S II	FTK・レヴレーシング	10	23'34.998	54.239	14.729	2'18.445
16	8	菅勝 峻	KK-S II	FTK・レヴKKS-II	10	23'44.912	1'04.153	9.914	2'17.081
17	0	夕田 大助	KK-S II	LAPS A-ONE	10	23'46.720	1'05.961	1.808	2'21.014
18	7	高橋 浩史	KK-S II	BBK☆レヴレーシング	10	24'51.504	2'10.745	1'04.784	2'21.749
以上 規定周回数完走:									
	38	上野 大哲	KK-S II	SACCESS RACING	3	6'53.630	7Laps	7Laps	2'16.401
	26	吉元 陵	KK-S II	安藤商会オートバンサー-NEO鹿見島ED	1	2'22.052	9Laps	2Laps	

開始時刻: 13:59'14

終了時刻: 14:21'54

レース中のベストタイムは No. 6 岡本 大地 FTK・レヴレーシング 2'15.047 8/10 154.80km/h

規定周回数 9

No.7 ピットスタート(鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書第24条~3)(タイヤの交換))

ペナルティ

No.7 ドライビングスルーペナルティ(鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書第24条~3)(タイヤ交換申請の手順違反)

No.59 ドライビングスルーペナルティ(鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書第55条~1)(反則スタート))

No.8 競技結果に40秒加算(鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書第59条~1)D(危険なドライブ行為))

No.18 訓戒(鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書第59条~1)D(危険なドライブ行為))

